

山行番 NO. 1712

日時 2016. 11. 26 (土) 無風快晴高温

山域 山梨・小檜山 (1713m) 南西尾根～西尾根

コース 下土狩5:00-裾野-御殿場-河口湖-御坂トンネル-塩山-小檜山・南西尾根取り付き8:00-1回目林道8:32-2回目林道8:56-1508m峰9:45-小さな岩場10:22-幕岩からの道-小檜峠10:29-小檜山10:43~11:40-小檜峠-西尾根の頭1550m12:00-西尾根-塩平上の林道13:07-南西尾根取り付き13:36-下土狩17:00

標高差 南西尾根取り付き940m~小檜山1713m=約773m

参加者 後藤 (L) 沖、勝又(陽)、長谷、室伏=5名

今季初の新雪ハイキング

下土狩を5時に出て山梨に向かう。前々日の雪で籠坂トンネル付近は路肩に雪。すこし不安になる。あまり山の雪は好きではない。山梨県に入り塩山付近は路肩の雪は見えないところも、小檜山の雪が少ないことを期待する。

標高の高い登山口(940m)から南西尾根を目指すことになる。話を理解せずに標高の一番高い登山口まで車を誘導(結果、今日の下山口、塩平の登山口付近まで車で行ってしまう)。地図確認し、今日の登り口着。表示の看板は無し。道路わきに車を止める土の部分は凍っている。初めからスパッツを装着し登山開始。



南西尾根取り付き



最初の林道



1350m付近

車を止めた脇の林道に行くのかと思ったが、山の斜面の急登に取り付く。道なき道を5分ほどの休憩を入れ直登30分。舗装した林道にぶつかる（高度260m程稼ぐ）、ほっと一息、今度こそ林道に行くのかと思ったが、しかし、期待に反して、すぐの反対側の山の斜面に取付きました急登。だが、体も少し慣れてくる、また次の舗装された林道に出る。

休憩して、山の斜面にとりつき尾根に入る。雪も登山開始時は少なかったものの、次第に増えて10~15cmほどあり、靴に着き歩きにくい。



高度が上がり、途中、尾根にでてからは、左右の梢のあいだ景觀が良い。右側には富士山の雄姿
左側には、金峰山の五丈岩。

そんな尾根を、上の林道から約1時間弱経過したところに、小ピーク（標高1508m、見難い標識か）
景觀をほどほどに楽しみながら、疲れもピーク。

ちょっとした岩場を越えて、幕岩からのコースに合流。ここから少し下ると小檜峠着。

峠から山頂までは15分、あと少し。10分程で山頂。急に開けた大展望 凄い。絶景かな、絶景かな。



正面に富士山と甲府盆地（甲府盆地は雲海に覆われ、幻想的に）右側には、南アルプス全容がクッキリと。初めてのアングル 空澄み渡る。リーダー、「この景観を皆に見てもらいたかった」納得。

風もなく、ゆっくり時間を、われわれのグループで独占する。景観を楽しみ、勝又さんが作った雪だるまと一緒に昼食、記念撮影。山頂で1時間、下山を開始する。快調に小樽峠を過ぎ西尾根の分岐着。

リーダーがGPSで、登山道の分岐、現在位置の確認し、我々は安心、安全、快調に下る。今朝、間違えた塩平の登山道入り口（標識は無）に到着。舗装道路を車までブラブラ下った。本日は、温泉ナシで帰路についた。



西尾根

その他の記述（後藤）

1. 南西尾根取り付きは、傍らに水道施設がある。
2. 途中の林道は、塩平集落下から伸びている。
3. 林道は、3月撤退した鼓川コースの1467m峰と1647m峰のコルに達していると思われる。
4. 尾根にブッシュは殆どない。
5. 1508m峰には、顕著な岩が二つある。
6. 1560mに岩場があるが問題ない。
7. 頂上に焼山峠から来た登山者が1名のみ。
8. ここの頂上の展望は半端でない。
9. 西尾根の入り口は分かり易い。
10. 西尾根は、南西尾根より急でない。
11. 西尾根最後のピークは上らず、焼山峠林道に下る。

おわり